

審査結果と各グループの発表に対する講評

【高校生の部】

◇最優秀賞（フランシスコ・ザビエル賞）

グループ名 帝塚山学院高等学校 歴史研究部 チーム SYAMISEN☆

テ－マ 三味線がつなく堺と世界

講 評 16世紀の大交易時代に、琉球貿易との関わりで堺に伝わった三弦が改良され三味線として堺から日本全国に広まっていくという歴史を丹念に調べています。他の弦楽器との比較も世界的な視野で研究しているだけでなく、実際にバイオリン、三味線、胡弓の演奏をして発表してくれたことがとても素晴らしい。発表のまとめと演奏のリハーサル、弦楽器の手作り、どれもたいへんだったと察します。このような研究発表の手法を高く評価しました。

◇優秀賞

グループ名 関西大学高等部 フィールドワーク部 堺歴史探究班

テ－マ 堺の中心で了瑠を叫ぶ

講 評 関西大学中等部高等部フィールドワーク部は、研究動機や仮説設定、現地調査、史料調査、結論、残された課題などを的確に示し研究発表するという伝統ができていますね。この発表も素晴らしい出来栄でした。日比屋了瑠の史料は少なく、研究自体が難しかったにもかかわらず、娘モニカを一つの足掛かりにして、先行研究を参考にしながら、できる限りの自分たちなりの分析をしていく研究姿勢が発表にも反映されていたと思います。最優秀賞とは僅差でした。

◇奨励賞

グループ名 金蘭千里高等学校 歴史研究部 「MNR」

テ－マ 住吉祭の今と昔～見学者の祭り観の変化に注目して～

講 評 堺まつりのルーツの一つとも言える、堺と関係性の深い住吉祭に着目したことにもまず感心しました。フィールドワークも史料・文献調査もチームワークよく楽しく進めていったことが発表の劇などにもあらわれていたと思います。贅沢をいえば、南蛮行列が描かれた住吉祭礼図屏風の分析や、祭礼と都市の関係性についての世界的な視野での比較などあれば、さらに素晴らしいものになったと思いました。

◇奨励賞

グループ名 大阪府立高津高等学校 地歴研究部
テ - マ 認識の変化から考える古墳～古墳の存在意義とは？～
講 評 古墳造営時だけではなく、その後の古墳の存在意義を深く研究していたと思います。近現代までを視野に入れた古墳に関する研究発表は初めてで、着眼点が優れていました。農業用水や燃料基地としての役割について触れていましたので、その点をもう少し丹念に史料調査したら、より素晴らしい発表になったと思います。また、ユネスコ世界遺産には世界各地の王墓が選ばれていますので、その比較研究があれば、さらに素晴らしいものになったと思います。

◇奨励賞

グループ名 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 We love 堺
テ - マ リーフデ号
講 評 このグループも初めてのテーマにチャレンジしてくれました。その姿勢を評価したいと思います。リーフデ号がその後の日本が内政や外交に果たした役割を簡潔に研究発表していたと思います。ポルトガルやスペインとの違いについても比較検討していました。このあたりをもう少し深掘すればなおよかったと思います。また、質疑応答に対してもう少し適切に対応していれば、もっともっと高い評価を受けていたと思います。

【中学生の部】

◇最優秀賞（ルノン助左衛門賞）

グループ名 関西大学中等部 フィールドワーク部 鳥井駒吉探究班

テ－マ 酒造業界の革命家「鳥井駒吉」～駒吉の目に映った世界市場～

講 評 堺の近代史に欠かすことのできない人物である鳥井駒吉に着目した点が素晴らしい。それだけではなく、先にも触れたとおり、関西大学中等部高等部フィールドワーク部の研究方法や発表の深さが端的に表れていました。高校生レベルの発表になっていました。アサヒビール吹田工場関係者や曾孫の鳥井洋さんへの聞き取り調査や各地へのフィールドワーク、世界的な視点への目配りもあり、精緻な研究を進めたことがうかがえました。

◇優秀賞

グループ名 金蘭千里中学校 歴史研究部

テ－マ BC2700-AD2019 お茶が描いた4700年の時

講 評 堺にかかわりの深いお茶について、歴史的にも世界的にも幅広い研究発表をしたことが良かったと思います。ヨーロッパ、中国、日本のそれぞれの比較も十分にできていましたし、それぞれの歴史の変遷もたどっていました。比較年表を作るという発表の仕方も良かったです。贅沢をいえば、お茶の歴史的経緯、中国から日本へ、日本からヨーロッパへのお茶の伝わり方などに関しては諸説がありますので、ランキングの根拠も含めて、より丁寧な史料分析があればと感じました。

◇奨励賞

グループ名 関西大学中等部 フィールドワーク部 鉄道班

テ－マ 阪堺鉄道の初期機関車の来歴とゆくえ

～黎明期・南海鉄道の知られざる歴史？

講 評 日本初の民間鉄道に着目した点が良かったと思いますので、そのあたりの先駆者としての努力や苦労、成果などについて、さらにもう少し深めていたらより素晴らしい発表になったことでしょう。フィールドワークの丹念さは言うまでもありません。得意分野の機関車に重点を置きつつ世界的な視野で研究を進めたこともよく分かる発表でした。

◇奨励賞

グループ名 帝塚山学院中学校 歴史研究部 チームOKOU☆

テーマ 堺とお香について

講評 日本で最初に線香をつくった堺。堺には禅寺も多かったので、香道についての研究発表は良い着眼点でしたね。実際に香道体験もして、その成果が発表にも表れていたと思います。線香の原料供給地と貿易都市・堺との関係、「泉南仏国」と言われた堺と線香の関係、組香や源氏香の遊び体験など、今回の研究発表で得た知識や経験がたくさんあると思いますので、これからもお香についての研究を進めていってほしいと思います。

◇奨励賞

グループ名 堺市立三原台中学校

テーマ 「修学旅行先で堺のまちをPR」

講評 修学旅行準備段階からの創意工夫、修学旅行先の長野県での堺の魅力発信、帰ってから後の堺での長野県の魅力発信支援と、修学旅行を存分に味わい尽くした成果がとてもよく表れた発表でした。修学旅行という貴重な事業をこのような長いスパンで取り組まれたこと、修学旅行先との相互交流・連携は、とても素晴らしいことです。体験学習の一つのモデルとして、我々もとても勉強になりました。

◇奨励賞

グループ名 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 堺の鉄砲調査隊

テーマ 堺の鉄砲と戦国の世

講評 まず、パワーポイントのデザインがとても素晴らしかったです。短期間でよく仕上げたなと思いました。鉄砲が堺にいち早く伝わり大量生産できた理由や分業製造、大きな流れはつかんでいる発表だったと思います。鉄砲が堺にいち早く伝わった理由（琉球貿易）、火薬も大量生産できた理由（アジア海域貿易による硝石入手）、分業体制が整った理由（金属加工技術者集団の存在などについて、もう少し深めていけばより素晴らしい発表になりえたと思います。）

【特別賞】

◇堺ユネスコ協会賞

グループ名 大阪府立三国丘高等学校 放送研究会

テ ー マ 渡日する外国人との共生とは

講 評 タイムリーなテーマ設定でした。堺アセアンウィークや国際交流プラザ。学校現場などで丁寧な現地調査・ヒアリングを実施しているだけでなく、史料文献の分析にもしっかりと取り組んで研究をしています。発表も要点を簡潔にしめしたものであり、好感が持てました。ビデオ取材も見事でした。贅沢をいえば、歴史的・世界的な考察・分析・比較をもう少し深めてくれていたならば、さらに高い評価になったと思います。